

事後評価資料

◇都市再生整備計画 七隈線沿線地区




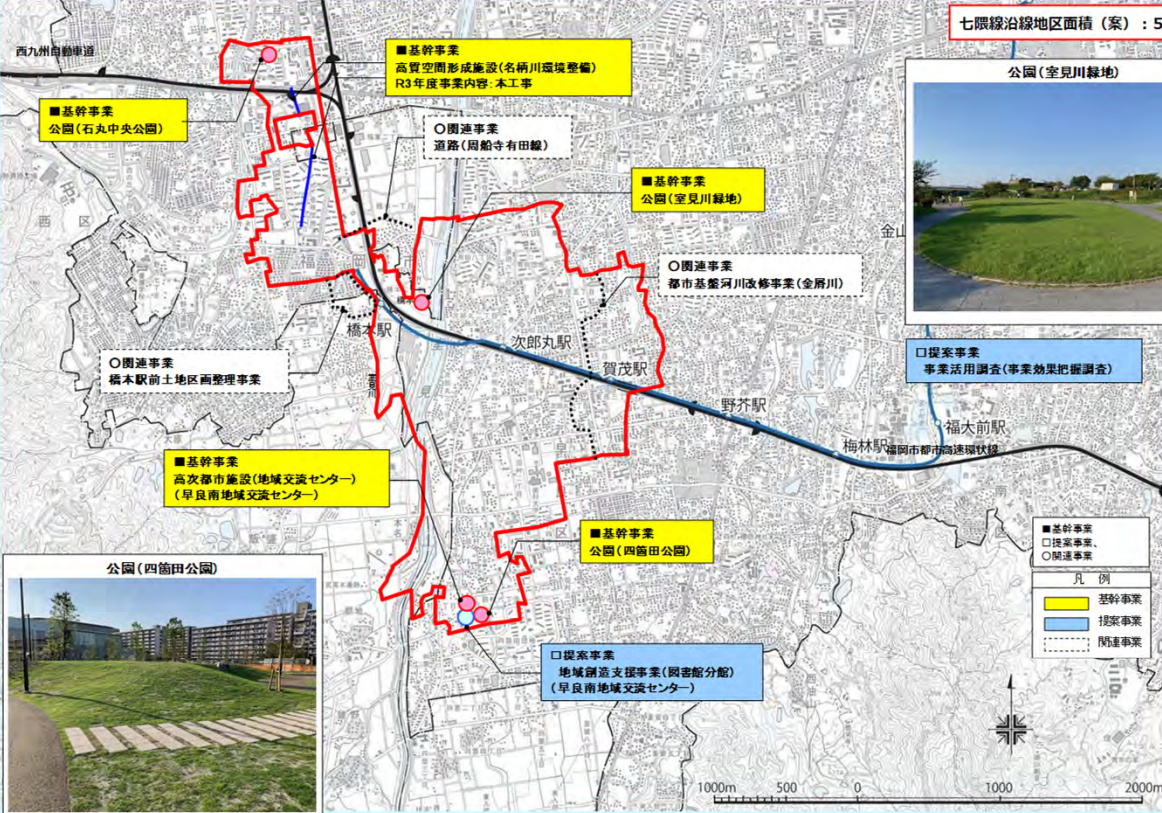


令和3年11月

福岡県福岡市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	地区名	七隈線沿線地区			面積	522ha			
交付期間	平成29年度～令和3年度	事後評価実施時期	令和3年度	交付対象事業費	4145.5百万円	国費率	0.40					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 ○公園(石丸中央公園、賀茂中央公園、香岐団地中公園、香岐団地南公園、香岐団地北公園、四箇田公園、室見川緑地) ○下水道(香岐東第5雨水幹線整備) ○高質空間形成施設(名柄川環境整備) ○高次都市施設(早良南地域交流センター)									
		提案事業	○地域創造支援事業(図書館分館整備(早良南地域交流センター)) ○事業活用調査(事業効果把握調査)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名	削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	○公園(賀茂中央公園、香岐団地中公園、香岐団地南公園、香岐団地北公園) ○下水道(香岐東第5雨水幹線整備)	関連事業や関係機関及び地権者との協議調整の結果、計画から削除したもの。				期待される効果に影響はないため、指標及び数値目標は据え置く。				
	新たに追加した事業	基幹事業	なし									
提案事業		なし										
交付期間の変更	当初変更	平成29年度～令和3年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ	
					モニタリング	評価値	達成度				予定時期	
	指標1	対象地域内の居住人口	人	48,050	H28	47,825	R3	48,348	○	あり	当該事業の実施により、周辺の公園や交流施設の整備も進められたことも居住人口が増加したことの要因であると考えられる。さらに、関連事業として橋本駅前土地区画整理事業を継続的に進めていることにより、住みやすい環境が整えられていることも目標達成要因の一つと考えられる。	-
	指標2	憩いの広場や公園の満足度	%	38.7	H28	50.4	R3	52.2	○	あり	当該事業の実施による公園整備によるオープンスペースの確保や緑空間等の充実化が、目標達成要因と考えられる。	-
	指標3	まちの活気を生み出す地域の取組み満足度	%	44.2	H28	51.1	R3	36.9	×	あり	公園整備は効果があったが、地域交流センターの閉館が令和3年11月であり効果が発揮できなかった事や、昨年2月から続いている新型コロナウイルス感染症の影響で多くの人が集まるイベント等が制限された事により、地域の交流やにぎわいを創出するイベントなどが出来なかったことが未達成の主な要因であると考えられる。	-
指標4	地域の防災など安全・安心に關する満足度向上	%	26.5	H28	39.5	R3	39.6	○	あり	当該事業の実施により住民が要望していた防災の場としての公園整備や緊急時の避難場所となる芝生公園整備を行ったことが目標達成要因と考えられる。	-	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1	単位	従前値	基準年度	目標値	数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ	
					モニタリング	評価値	達成度※1				予定時期	
その他の数値指標1	誰もが快適に暮らせるように配慮した生活環境の変化	%	33.3	H28	-		38.1	従前値より増加	-	地域交流センターや公園整備が行われたことにより、交流やにぎわいを創出するイベントやお祭りなどが集まって楽しめる施設ができたことにより、誰もが快適に暮らせるように配慮した生活環境の満足度が向上したと考えられる。	-	
4) 定性的な効果発現状況	アンケート結果から公園や緑道(線を残す)整備によりキレイになり、早朝散歩を楽しむことが出来るという声があり、住民から評価をいただいた。											
5) 実施過程の評価	モニタリング	実施内容			実施状況				今後の対応方針等			
		-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-			
	住民参加プロセス	石丸中央公園については、工事着手前にワークショップを実施し、地域住民と共に公園設計を行った。 四箇田公園については、工事着手前に公園整備内容について、地元説明会を開催し、地域の意見を設計に反映させた。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○ 公園愛護会などを通して、地域と連携をした公園の管理を実施していく。			
持続的なまちづくり体制の構築	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-				

様式2-2 地区の概要

七隈線沿線地区(福岡県福岡市) 都市再生整備計画事業の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	従前値		目標値		評価値
大目標: 地下鉄七隈線沿線の人とまちと自然が調和した、魅力あるまちづくり 目標1: 七隈線沿線の都市機能強化による“交通利便性の向上” 目標2: 豊かな自然環境を活かした防災対策による“安全・安心な空間の形成” 目標3: 地域コミュニティ活動の支援による“交流やにぎわいの創出”	対象地域内の居住人口	単位: 人	48,060	H28	47,825	F3	48,348	R3
	憩いの広場や公園の満足度	単位: 人	38.7	H28	50.4	F3	52.2	R3
	まちの活気を生み出す地域の取組み満足度	単位: 人	44.2	H28	51.1	F3	36.9	R3
	地域の防災など安全・安心に関する満足度向上	単位: 人	26.5	H28	39.5	F3	39.6	R3
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 25%;"> <p>公園(石丸中央公園)</p>  <p>高次都市施設(早良南地域交流センター)</p>  <p>高質空間形成施設(名柄川環境整備)</p>  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>七隈線沿線地区面積(案): 522ha</p> <p>公園(室見川緑地)</p>  </div> <div style="width: 25%;"> <p>公園(四箇田公園)</p>  </div> </div>	<p> ■ 基幹事業 □ 提案事業 ○ 関連事業 </p>							
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 石丸中央公園などの公園整備や室見川の整備により、オープンスペースの確保や水と緑と触れ合える快適性の高い空間形成が図られた。 地域のまちづくり活動の拠点となる地域交流センターや図書館等の整備により居住人口が増加し地域交流を創出できる空間形成が図られた。 公園整備や下水道整備等により、地域の防災機能の強化が図られるなど、安全安心な環境形成が図られた。 対象地域において公園整備を計画的・継続的に行っていく必要がある。 近年毎年発生している台風やゲリラ豪雨などの風水害への更なる防災機能強化が必要である。 地域交流センターにおける事業の充実等、利用者数増加に向けた施設の継続的な活用を促す必要がある。 公園や地域交流センターなど新たな整備した施設に対する維持管理が必要である。 施設整備された資源を活用して、新たな生活様式に合わせて行える地域交流を創出していくことが求められる。 							
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 七隈線沿線のさらなる良好なまちづくりを図る為、引き続き、都市機能の充実化を図る拠点施設の整備や都市景観の向上などの整備を図る。 地域交流センターを利用する地域住民のニーズに合わせた事業やイベント開催により、地域コミュニティの交流やにぎわいを創出する。 地域の防災機能の向上を図る為、地域防災計画にて避難場所と位置づけられた公園や公民館の整備、浸水対策などの整備を行い、地域の安全性向上を図る。 対象地域で未整備や計画されている公園整備を引き続き行い、居住者にとって憩いや安心を与えられる空間を創出していく。 							

資料 3-2

事後評価説明資料

◇都市再生整備計画 七隈線沿線地区

令和3年11月

福岡県福岡市

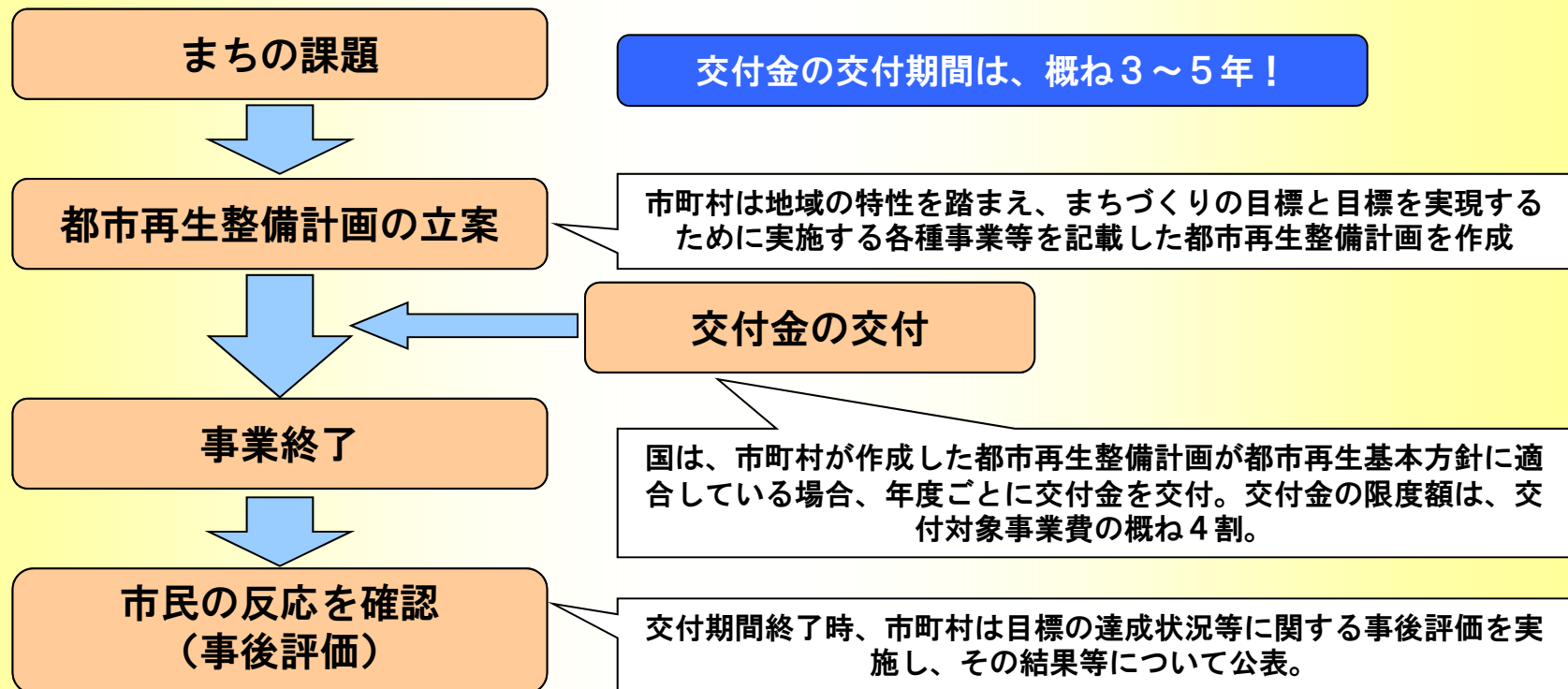
都市再生整備計画事業について

1. 都市再生整備計画事業とは

○目的

都市再生整備計画事業は、地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした地域主導の個性あふれるまちづくりを実施し、全国の都市の再生を効率的に推進することにより、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図ることを目的とする。

○制度の概要



2. 福岡市での活用状況について

都市再生整備計画(旧まちづくり交付金)事業地区

福岡市全体 (R3.4時点)
地区 : 5地区
面積 : 2,479 ha
総事業費 : 23,951(百万円)

アイランドシティ地区
面積 : 192ha
交付期間 : H31~R5
総事業費 : 1,999(百万円)
主な交付対象事業
・公園整備
・まちかど広場整備・沿道緑化

福岡都心部地区
面積 : 988ha
交付期間 : H30~R4
総事業費 : 8,824(百万円)
主な交付対象事業
・道路整備
・公園整備
・歩行者連絡橋整備
・自転車駐車場整備

舞鶴公園・南公園周辺地区
面積 : 574ha
交付期間 : H31~R5
総事業費 : 8,216(百万円)
主な交付対象事業
・公園整備

七隈線沿線地区
面積 : 522ha
交付期間 : H29~R3
総事業費 : 4,146(百万円)
主な交付対象事業
・公園整備
・河川環境整備
・地域交流センター整備

雑餉隈駅周辺地区
面積 : 203ha
交付期間 : R3~R7
総事業費 : 766(百万円)
主な交付対象事業
・道路整備
・公園整備
・自転車駐車場整備

**都市再生整備計画
「七隈線沿線地区」の概要**

1. 都市再生整備計画「七隈線沿線地区」の概要

目標と目標達成に向けた取り組み

大目標
地下鉄七隈線沿線の人とまちと自然が調和した、
魅力あるまちづくり

<目標1>

七隈線沿線の都市機能強化による”交通利便性の向上”

【目標に向けた主な取り組み】

- 都市サービスの充実化を図る施設の整備
- 河川空間を活用した景観形成や緑豊かな歩行空間の整備

<目標2>

豊かな自然環境を活かした防災対策による
”安全・安心な空間の形成”

【目標に向けた主な取り組み】

- 避難所及び避難場所として位置付けられる公園等の整備を行い、安全安心な環境形成
- 浸水対策を進め、自然災害に備えた防災対策

<目標3>

地域コミュニティ活動の支援による”交流やにぎわいの創出”

【目標に向けた主な取り組み】

- 地域コミュニティ活動の拠点施設の整備

目標を定量化する指標

指標1：対象地域内の居住人口

指標2：憩いの広場や公園の満足度

指標3：まちの活気を生み出す
地域の取り組み満足度

指標4：地域の防災など安全・安心
に関する満足度向上

2. 「目標」と「指標」と「事業」の関係

目標1 七隈線沿線の都市機能強化による”交通利便性の向上”

■公園(石丸中央公園ほか)

■高次都市施設(早良南地域交流センター)

■高質空間形成施設(名柄川環境整備)

□地域創造支援事業(図書館分館)

○道路(周船寺有田線(橋本2))

○橋本駅前土地区画整理事業

指標1
対象地域内の居住人口

指標3
まちの活気を生み出す
地域の取組み満足度

目標2 豊かな自然環境を活かした防災対策による”安全・安心な空間の形成”

■公園(石丸中央公園)

○橋本駅前土地区画整理事業

○河川(金屑川)

○道路(周船寺有田線(橋本2))

指標2
憩いの広場や公園の満足度

指標4
地域の防災など安全・
安心に関する満足度向上

目標3 地域コミュニティ活動の支援による”交流やにぎわいの創出”

■高次都市施設(早良南地域交流センター)

■公園

□地域創造支援事業(図書館分館)

指標3
まちの活気を生み出す
地域の取組み満足度

指標4
地域の防災など安全・
安心に関する満足度向上

凡例:

■基幹事業

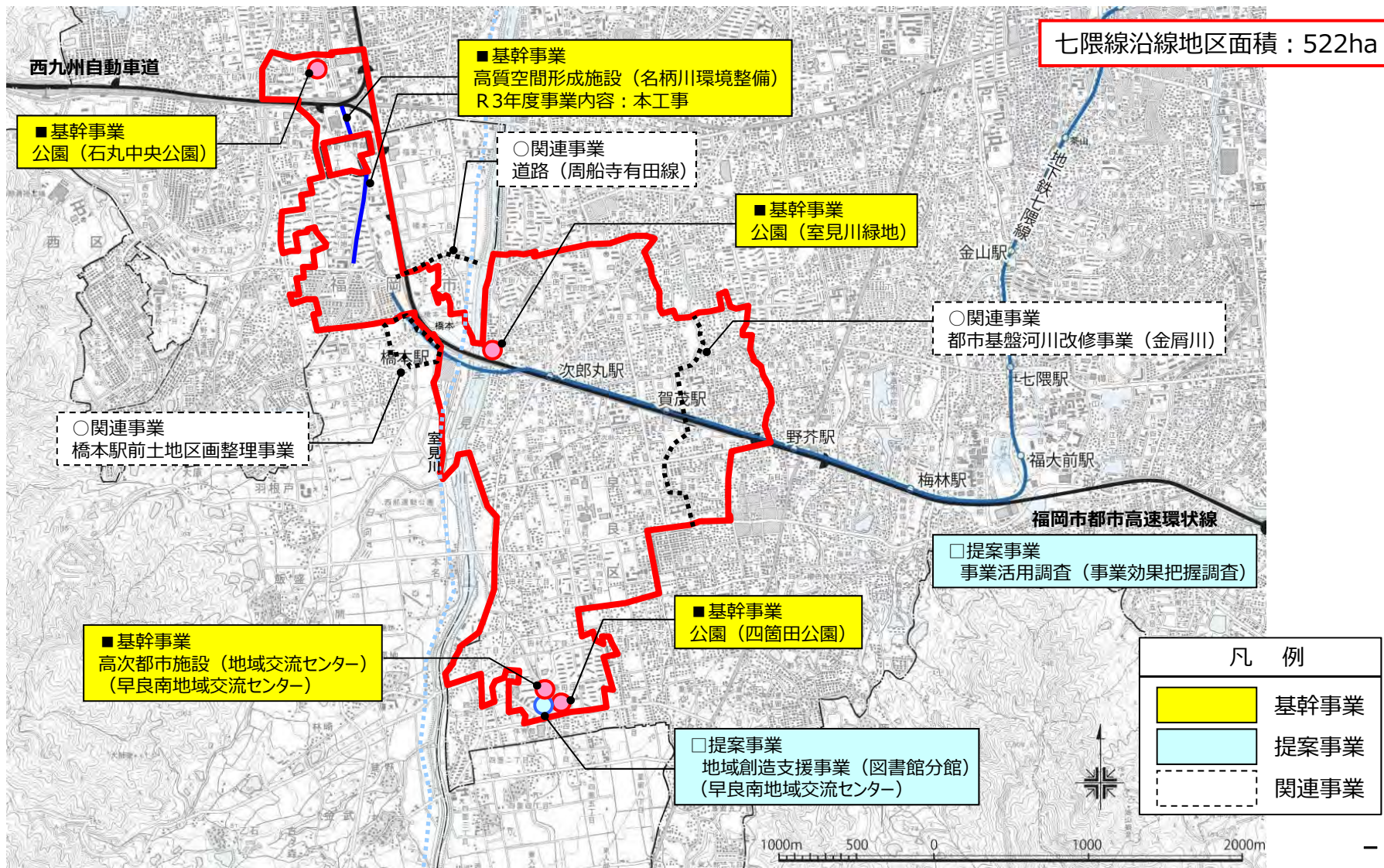
◆基幹事業(一括)

□提案事業

○関連事業

3. 「七隈線沿線地区」整備方針概要図

計画期間	平成29年度 ~ 令和3年度	交付期間	平成29年度 ~ 令和3年度	面積	522 ha
交付対象事業費	4,145.5 百万円	内訳	【基幹事業】 3492.7 百万円	【提案事業】 652.8 百万円	



都市再生整備計画「七隈線沿線地区」の整備状況(令和3年10月末時点)

七隈線沿線地区面積(案) : 522ha



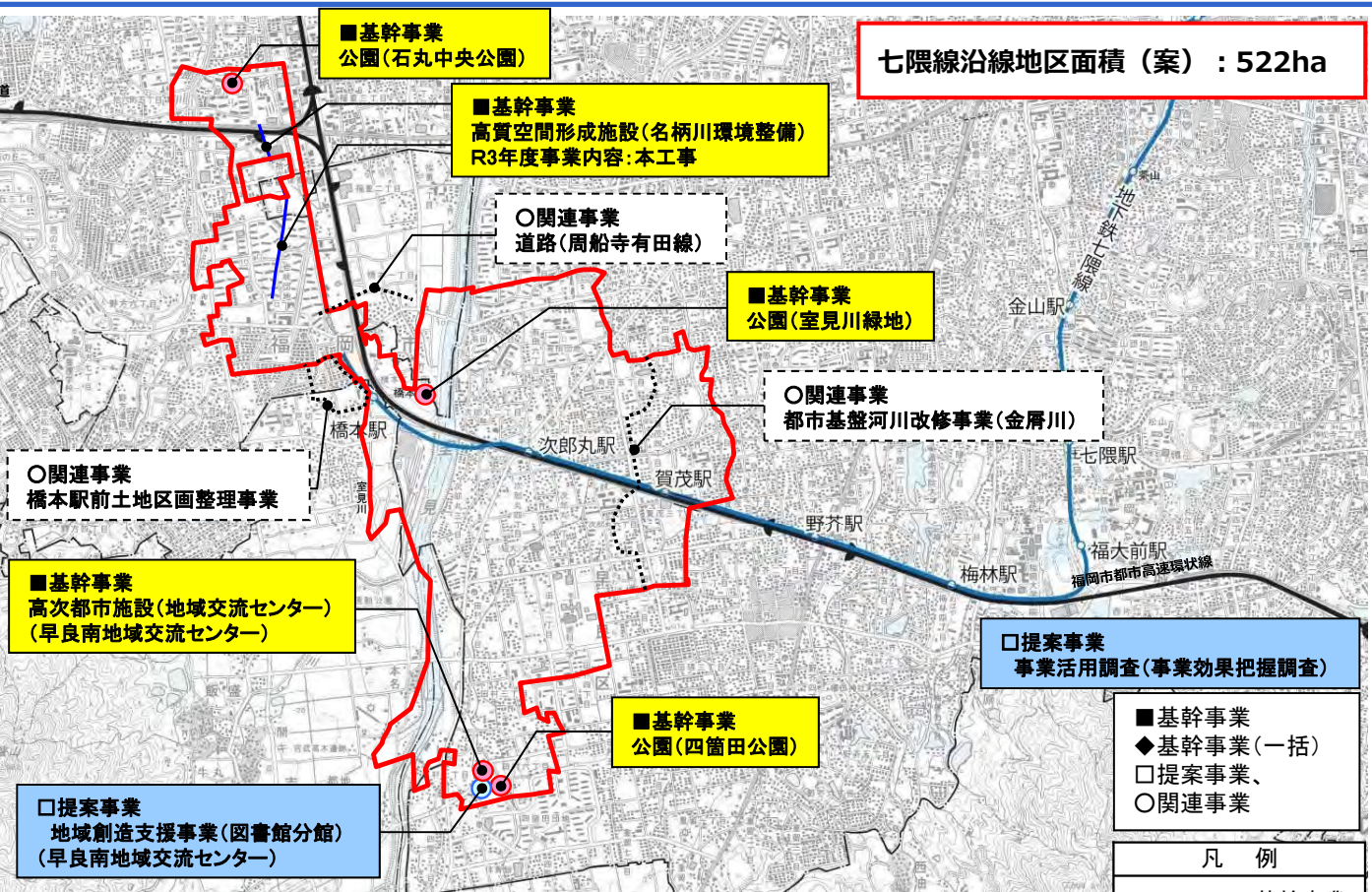
公園(石丸中央公園)



高次都市施設(早良南地域交流センター)



高質空間形成施設(名柄川環境整備)



■基幹事業
高次都市施設(地域交流センター)
(早良南地域交流センター)

□提案事業
地域創造支援事業(図書館分館)
(早良南地域交流センター)

■基幹事業
公園(石丸中央公園)

■基幹事業
高質空間形成施設(名柄川環境整備)
R3年度事業内容:本工事

○関連事業
道路(周船寺有田線)

■基幹事業
公園(室見川緑地)

○関連事業
都市基盤河川改修事業(金屑川)

■基幹事業
公園(四箇田公園)

□提案事業
事業活用調査(事業効果把握調査)

- 基幹事業
- ◆基幹事業(一括)
- 提案事業、
- 関連事業

凡例

- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業



公園(四箇田公園)



公園(室見川緑地)

目標を定量化する指標(数値目標)の 達成状況

目標を定量化する指標の達成状況

指標	従前値	目標値	評価値	達成度
指標1 対象地域内の居住人口	48,050人 (H28)	47,825人 (R3)	48,348人 (R3)	○
指標2 憩いの広場や公園の満足度	38.7% (H28)	50.4% (R3)	52.2% (R3)	○
指標3 まちの活気を生み出す地域の 取組み満足度	44.2% (H28)	51.1% (R3)	36.9% (R3)	×
指標4 地域の防災など安全・安心に 関する満足度向上	26.5% (H28)	39.5% (R3)	39.6% (R3)	○
その他の数値指標1 誰もが快適に暮らせるように 配慮した生活環境の変化	33.3% (H28)	—	38.1% (R3)	従前値より増加

住民満足度(指標2、指標3、指標4、その他の数値指標1)の評価方法

事後評価の実施方法

指標2～4とその他の数値指標1は、従前値との比較評価を行うため、従前値と同様の調査方法、設問でアンケートを実施し、評価値を算出した。

指標2:「憩いの広場や公園の満足度」

指標3:「まちの活気を生み出す地域の取組み満足度」

指標4:「地域の防災など安全・安心に関する満足度向上」

その他の数値指標1:「誰もが快適に暮らせるように配慮した生活環境の変化」

アンケート調査方法

- 調査対象:対象地域内に居住する15歳以上の男女2,000人を対象とする。
(住民基本台帳を用いた無作為抽出)
- 調査方法:郵送によるアンケート配布及び回収

アンケート調査の実施概要

- 実施期間:令和3年8月19日～9月3日
- 配布数:2,000通
- 回収数:778通(回収率:38.9%)

※参考 平成28年度 調査概要

- 実施期間:平成28年8月10日～8月26日
- 配布数:2,000通
- 回収数:758通(回収率:37.9%)

数値目標達成状況について

指標1

対象地域内の居住人口

目標値

従前値(H28)

目標値(R3)

評価値(R3)

評価結果

48,050人

47,825人

48,348人

○

評価

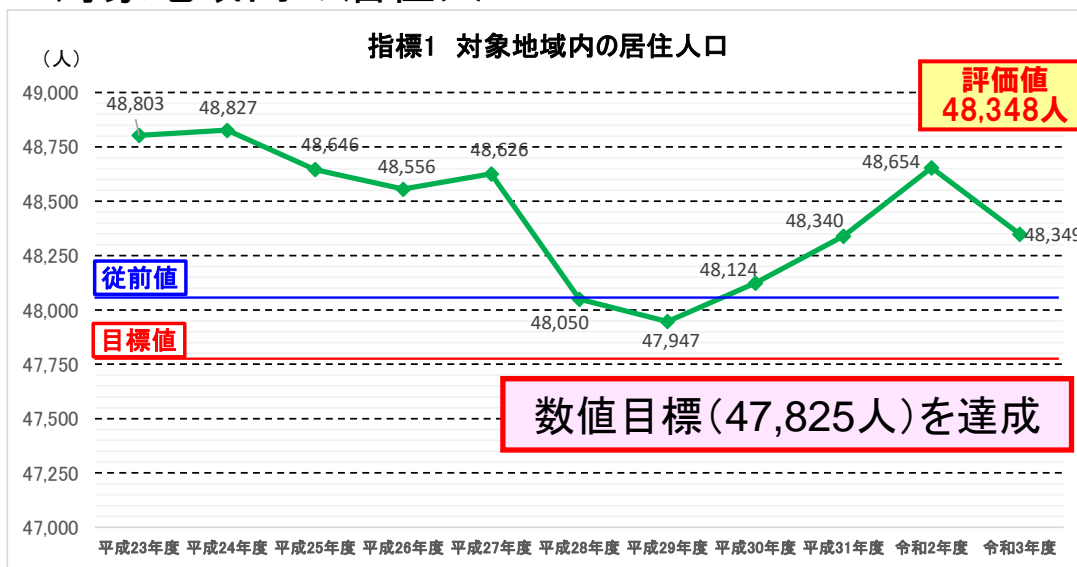
対象地域内の居住人口は、約300人増加し、目標を達成している。

これは、アンケート調査において、「買い物などの日常生活の利便性」の満足度が80%を超えていることや5年前からの変化については約70%がよくなっていると回答しているなど、生活しやすい環境が整っているので居住者が増えているということが考えられる。

また、当該事業の実施により、周辺の公園や交流施設の整備も進められたことも居住人口が増加したことの要因であると考えられる。

さらに、令和4年度には七隈線延伸区間の開業が予定されており、七隈線の利便性が向上することで、沿線の更なる人口増加が見込まれる。

■対象地域内の居住人口



データ

<目標値の考え方>

平成28年人口に、2期計画実施前である平成23年度から平成28年度の推移を基に令和3年度の目標に設定。将来人口推計において、関連する早良区と西区の合計は増加傾向であるが、計画区域内は減少傾向であることから、減少数を半減させることを目標とする。

<対象地区の居住者>

【早良区】

有田3、5、6、8丁目、有田団地、賀茂1～4丁目、田隈1、2丁目、次郎丸1～6丁目、田村1～7丁目、四箇田団地

【西区】

石丸4丁目、拾六町1、3、4丁目、十郎川団地、戸切1丁目、大字橋本、橋本1、2丁目、壱岐団地

指標2

憩いの広場や公園の満足度

目標値

従前値 (H28)

目標値 (R3)

評価値 (R3)

評価結果

38.7%

50.4%

52.2%

○

評価

評価対象となる「賀茂駅」、「次郎丸駅」、「橋本駅」周辺住民の憩いの広場や公園の満足度は約14%増加し、目標を達成している。

また、アンケート調査において「(評価対象となる回答者の)身近な憩いの広場や公園の5年前からの変化」について、約52%が“良くなっている”と回答するなど、当該事業の実施による公園整備によるオープンスペースの確保や緑空間等の充実化が、目標達成要因と考えられる。

データ

■ 身近な憩いの広場や公園について「非常に満足」「やや満足」とした回答者

(従前値と同様に、該当事業の最寄り駅である「賀茂駅」、「次郎丸駅」、「橋本駅」の回答者が対象)

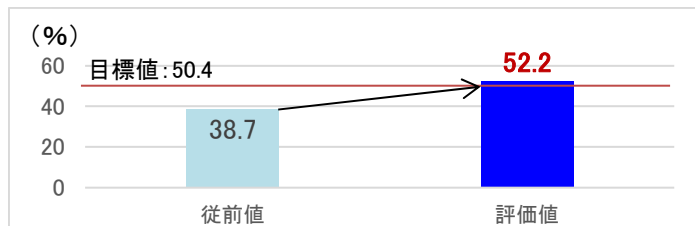
< 目標値の考え方 >

第9次福岡市基本計画(平成24年12月)において、公園や河川の整備等、本計画の取組内容に合致している分野の目標及び指標として設定されている、目標4 指標44「身近な緑の満足度」の目標値(H34(R4))において、10年間で23.4%伸ばす目標としていることから、本計画の計画期間5年間で11.7%増加を目標とする。

< 評価値の考え方 >

$$350人(事後) \div 670人 \times 100 \div 52.2\%$$

従前値に対して約14%増となり、目標を達成



項目	従前値 (H28年度調査)		評価値 (R3年度調査)		構成比	評価値
	回答数	構成比	回答数	構成比		
非常に満足	22	98	78	350	38.7%	52.2%
やや満足	76		272			
どちらでもない	128	128	235	235	50.6%	35.1%
やや不満	21	27	74	85	10.7%	12.7%
非常に不満	6		11			
合計	253	253	670	670	100.0%	100.0%

指標3

まちの活気を生み出す地域の取組み満足度

目標値

従前値 (H28)

目標値 (R3)

評価値 (R3)

評価結果

44.2%

51.1%

36.9%

×

評価

公園整備は効果があったが、地域交流センターの開館が令和3年11月であり効果が発揮できなかった事や、昨年2月から続いている新型コロナウイルス感染症の影響で多くの人が集まるイベント等が制限された事により、地域の交流やにぎわいを創出するイベントなどが出来なかったことが未達成の主な要因であると考えられる。

今後、今回整備した施設を活用して地域住民のニーズに合わせた事業やイベント開催により、地域コミュニティの交流やにぎわいの創出が期待される。

データ

■まちの活気を生み出す地域の取組みについて「非常に満足」「やや満足」とした回答者（従前値と同様に、該当事業の最寄り駅である「賀茂駅」、「次郎丸駅」、「橋本駅」の回答者が対象）

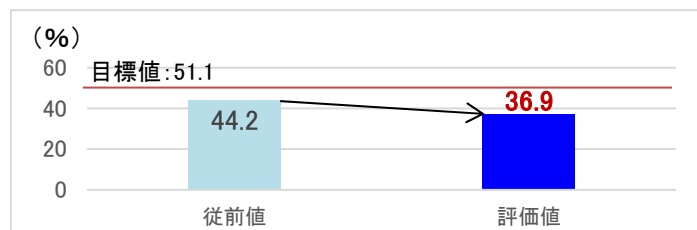
＜目標値の考え方＞

・第9次福岡市基本計画（平成24年12月）」に掲げている、地域コミュニティの活性化など、本指標との関連が高いと考えられる分野の目標及び指標として設定されている、目標2 指標16「地域活動への参加率」と目標値（H34）において、10年間で13.8%伸ばす目標としていることから、本計画の計画期間5年間で6.9%増加を目標とする。

＜評価値の考え方＞

$$247人(事後) \div 670人 \times 100 \div 36.9\%$$

従前値に対して約7%減となり、目標を未達成



項目	従前値 (H28年度調査)		評価値 (R3年度調査)		構成比	
	回答数	構成比	回答数	構成比		
非常に満足	21	111	42	247	36.9%	
やや満足	90		205			
どちらでもない	119	119	365	365	54.5%	
やや不満	17	21	54	58	8.7%	
非常に不満	4		4			
合計	251	251	100.0%	670	670	100.0%

指標4

地域の防災など安全・安心に関する満足度向上

目標値

従前値 (H28)

目標値 (R3)

評価値 (R3)

評価結果

26.5%

39.5%

39.6%

○

評価

評価対象となる「賀茂駅」、「次郎丸駅」、「橋本駅」周辺住民の地域の防災など安全・安心に関する満足度向上は約13%増加し、目標を達成している。
 また、当該事業の実施により住民が要望していた防災の場としての公園整備や緊急時の避難場所となる芝生公園整備、緊急時の延焼防止帯となる緑地の確保等が、目標達成要因と考えられる。

データ

■地域の防災など安全・安心について「非常に満足」「やや満足」とした回答者

(従前値と同様に、該当事業の最寄り駅である「賀茂駅」、「次郎丸駅」、「橋本駅」の回答者が対象)

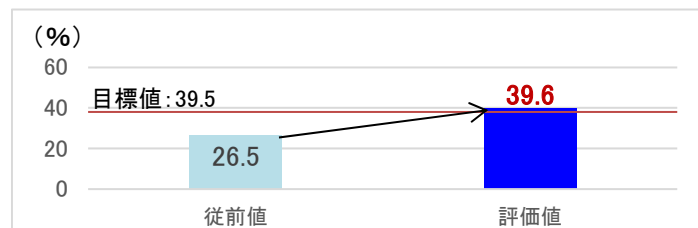
<目標値の考え方>

「第9次福岡市基本計画(平成24年12月)」に掲げている、目標3 指標22「地域の防災対策への評価」の目標値(H34)を、本指標の目標値を設定

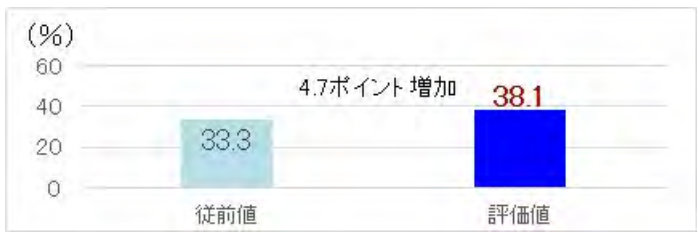
<評価値の考え方>

$265人(事後) \div 670人 \times 100 \div = 39.6\%$

従前値に対して約13%増となり、目標を達成



項目	従前値 (H28年度調査)		評価値 (R3年度調査)		
	回答数	構成比	回答数	構成比	
非常に満足	13	67	36	265	39.6%
やや満足	54		229		
どちらでもない	154	154	350	350	52.2%
やや不満	24	32	34	55	8.2%
非常に不満	8		21		
合計	253	253	670	670	100.0%

目標値	従前値 (H28)	目標値 (R3)	評価値 (R3)	評価結果																																			
	33.3%	-	38.0%	○																																			
評価	<p>交流やにぎわいを創出するイベントやお祭りなど人が集まって楽しめる地域交流センターや公園整備が行われたことにより、誰もが快適に暮らせるように配慮した生活環境の満足度が向上したと考えられる。</p> <p>過年度と今年度のアンケート調査結果から「誰もが快適に暮らせるように配慮した生活環境の変化」は約5%増加している。</p>																																						
データ	<p>■ 誰もが快適に暮らせるように配慮した生活環境について 「非常に満足」「やや満足」とした回答者 (該当事業の最寄り駅である「賀茂駅」、「次郎丸駅」、「橋本駅」の回答者が対象)</p> <p><評価値の考え方> 254人(事後) ÷ 667人 × 100 ≒ 38.1%</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>従前値に対して約5%増加！</p> </div>  <table border="1" data-bbox="1366 997 2049 1452"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">従前値 (H28年度調査)</th> <th colspan="2">評価値 (R3年度調査)</th> </tr> <tr> <th>回答数</th> <th>構成比</th> <th>回答数</th> <th>構成比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常に満足</td> <td>15</td> <td rowspan="2">84 33.3%</td> <td>44</td> <td rowspan="2">254 38.1%</td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>69</td> <td>210</td> </tr> <tr> <td>どちらでもない</td> <td>159</td> <td>159 63.1%</td> <td>358</td> <td>358 53.7%</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>4</td> <td rowspan="2">9 3.6%</td> <td>49</td> <td rowspan="2">55 8.2%</td> </tr> <tr> <td>非常に不満</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>252</td> <td>252 100.0%</td> <td>667</td> <td>667 100.0%</td> </tr> </tbody> </table>				項目	従前値 (H28年度調査)		評価値 (R3年度調査)		回答数	構成比	回答数	構成比	非常に満足	15	84 33.3%	44	254 38.1%	やや満足	69	210	どちらでもない	159	159 63.1%	358	358 53.7%	やや不満	4	9 3.6%	49	55 8.2%	非常に不満	5	6	合計	252	252 100.0%	667	667 100.0%
項目	従前値 (H28年度調査)		評価値 (R3年度調査)																																				
	回答数	構成比	回答数	構成比																																			
非常に満足	15	84 33.3%	44	254 38.1%																																			
やや満足	69		210																																				
どちらでもない	159	159 63.1%	358	358 53.7%																																			
やや不満	4	9 3.6%	49	55 8.2%																																			
非常に不満	5		6																																				
合計	252	252 100.0%	667	667 100.0%																																			

今後のまちづくり方策

まちの課題の変化

事業前の課題	成 果	残された課題
<p>これまで公園等の快適で安全安心な環境形成が図られており、今後も継続して未整備である公園等の整備を推進していく必要があり、子育て世代を中心とした人口の流入も図られており変化した人口構成に合わせた公園の計画的な再整備を行う必要である。</p>	<p>◆石丸中央公園などの公園整備や室見川の整備により、オープンスペースの確保や水と緑と触れ合える快適性の高い空間形成が図られた。</p>	<p>◆対象地域において公園整備を計画的・継続的に行っていく必要がある。</p>
<p>人口流入や高齢化に伴い、地域コミュニティの希薄化による従来地域コミュニティが果たしてきた見守りや支え合いといった機能の低下が懸念され、今後地域のまちづくり活動や地域交流に対する支援が必要である。</p>	<p>◆地域のまちづくり活動の拠点となる地域交流センターや図書館等の整備により居住人口が増加し地域交流を創出できる空間形成が図られた。</p>	<p>—</p>
<p>自然災害への備えや浸水対策、既存の避難場所等バリアフリー化など、実際に使用する地域のニーズに合った対策が必要となっている。</p>	<p>◆公園整備により、地域の防災機能の強化が図られるなど、安全安心な環境形成が図られた。</p>	<p>◆近年毎年発生している台風やゲリラ豪雨などの風水害への更なる防災機能強化が必要である。</p>
<p>【事業によって発生した新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域交流センターにおける事業の充実等、利用者数増加に向けた施設の継続的な活用を促す必要がある。 ◆公園や地域交流センターなど新たに整備した施設に対する維持管理 ◆施設整備された資源を活用して、新たに生活様式に合わせて行える地域交流を創出していくことが求められる。 		

今後のまちづくり方策

項 目

事業効果を継続させるために行う方策

●地下鉄七隈線沿線のさらなる都市機能の強化

→ 地域のまちづくり活動の拠点の整備
駅前広場の整備 等

残された課題や新たに発生した課題の改善策

●地域交流センターにおける地域交流活動の持続

→ 住民主体の交流事業やイベントの実施 等

●地域の防災機能をはじめとした安全性の向上

→ 公園の整備
公民館の整備 等

●地域交流や防災時に役立つ公園整備の推進

→ 公園の整備計画
公園等の維持管理計画 等